

芸術振

もくじ

一流をめざす心意気	1
第32回県芸術祭アルバム	2
第32回県芸術祭等受賞者一覧表	3
第32回県芸術祭に参加して	4～5
第11回国民文化祭 とやま'96に出演して	6
平成8年度基金事業アンケート	7～8



大分県芸術文化振興会議

No. 99

平成8.12

■発行人：仲町謙吉 ■編集人：後藤一郎

(題字 梶山)



一流をめざす心意気

別府市荘園3-2

ピアニスト 伊藤京子

大分にはキリスト教の伝来と共に1557年、日本人の聖歌隊がラテン語で聖歌を歌った記録が残されている。この史実からも西洋音楽との結びつきの深さが理解できる。県民オペラ等に代表されるように歴史は受け継がれ、見事に花開いている。県内の文化施設も充実し平成10年には県民ホールもオープンするが、益々県民の文化活動の発表の機会も増えることと期待している。昨年オープンした B-conplaza のお手伝いをさせて頂いているが、世界のピアノ界をリードするアルゲリッチ女史を監督にお迎えし、大分から世界へ文化の情報発信への第一歩を歩み始めた。地方の時代と言われて久しくなるが、仲々文化も中央一極集中の状態から脱却できずにいる。確かにマスコミの仕組み等地方からの情報発信にとって不都合な事もあると思うが、全般的に見ると残念なことだが、まだ地方と中央のレベルの格差というものもあるように思う。情報はあり余る程あるのだが、地方では余

り外の情報を必要とせずとも暮してゆける居心地の良さがあるのかもしれない。どうせ一流にはなれないと諦めるのではなく、一流を目指す心意気は芸術に対する謙虚さと共に常に必要なのではないだろうか。その為には「個」ではなく、交流を深め協力をしてお互いを高めてゆく努力も大切となり、貴団体の果たされる役割は大きなものだと思う。私共はアルゲリッチ女史を中心に、将来文化独立国九州の中核として大分が光り輝く日を夢見て平成10年国民文化祭の年に、世界に通用する音楽フェスティバルを目指している。今後も皆様と力を合わせて夢へ向かって大切に歩いてゆきたいと願っている。



土屋金哉 (県美協会員)

第32回大分県芸術祭 ふれあおう 個性あふれる 芸術祭

第32回 県芸術祭アルバム

▼開幕公演 「大分県民踊の夕べ」日本民踊研究会九州支部
H8.10.1 19:00 豊後高田市中央公民館



▼中幕公演 明野レディスコーラス25周年記念演奏会
「丘の上のハーモニー」明野レディスコーラス
H8.11.1 19:00 芸術会館



▼県美術展
大分県美術展
H8.10.1～10.20
巡回展 10.1～11.30



▲閉幕公演 第25回グループUNOコンサート「協奏曲の誘い」
H8.11.29. 19:00 大分県立芸術会館



▲'96国際音楽の日記念コンサート—あすをうたう—
大分県音楽団体協議会
H8.10.6 大分銀行赤レンガ館

▲ 第12回園田高弘賞ピアノコンクール本選会
H8.11.23 13:30 大分県立芸術会館



◀ 園田高弘 室内楽の夕べ
ウィーン・アルティス弦楽四重奏団
H8.11.6 18:30
トキハ会館ローズの間

第32回大分県芸術祭賞等受賞一覧

第32回大分県芸術祭賞受賞一覧表

賞	候補者(団体)名	推薦理由	備考
芸術祭賞	日本民踊研究会九州支部 代表/田近 豊次 [redacted]	第32回芸術祭開幕行事「大分県民踊の夕べ」に出演し成功させた。 また、参加行事として第33回民踊まつりを主催し、成功させた。	
	明野レディースコーラス 代表/山崎 泰子 [redacted]	第32回芸術祭中幕公演として、25周年記念演奏会を成功させた。 また、地域に根ざした活動を続け、歌詞を公募して「明野の歌一丘の上のハーモニー」を制作、発表するなど文化発信の面でも大きな成果を上げた。	
	グループUNO 代表/林 フミヨ [redacted]	第32回芸術祭閉幕行事「協奏曲への誘い」を成功させた。	
	新潮流の会 代表/山崎 芳直 [redacted]	「潮流展」(昭和54～昭和61年)を母体とする左団体は、昭和61年5月に第1回展を開催し、昨年10周年の節目として福岡市美術館でも展覧会を開催したところである。会員は洋画、日本画、所属団体を問わず、外部の批評にも虚心に耳を傾け、日々研鑽を続けている。 10年の節目の後の再出発となった本年の展覧会もその姿勢に違わぬ意欲的なもので、県内現代美術の一つの到達点を示すものとして評価に値する。	
功労賞	加藤 公康 (県民オペラ協会指揮者・ 大分交響楽団常任指揮者) [redacted] 職業/大分大学教授 [redacted]	長く大分県民オペラ、大分交響楽団の指揮者として、その育成、発展に貢献した。	昭和54年 特別感謝状
奨励賞	佐藤 勝良 (大分県民演劇制作協議会) 住所/杵築市 職業/会社員 [redacted]	共催行事「二豊の夜明け第1部・帆足万里の脱藩」で主役万里を演じ、見事に舞台を成功させた。 自身の演劇暦は高校時代から30年以上に及び、県民演劇での劇団歴も20年を数え、重厚な演技のできるベテランとして重要な役柄を演じてきた。	
新人賞	矢野 俊輔 (大分県県民演劇制作協議会) 住所/大分市鶴崎 職業/鶴崎工業高校1年 [redacted]	劇団歴は1年と浅いが、稽古を一日も休まず精勤し、その成果を共催行事「二豊の夜明け第1部・帆足万里の脱藩」での万里の門弟・岡松信吾役の好演、絶賛に結びつけた。	
特別感謝状	桂 直久 [redacted] 職業/大阪音楽大名誉教授 [redacted]	県民オペラの発足以来、演出者としてすべての公演に参加。参加行事「県民オペラ30周年メモリアルオペラコンサート」でも演出、構成、ナレーターを務め、芸術祭の発展に大きく貢献した。	昭和46年 62年 特別感謝状
	豊後高田市実行委員会 代表/倉田 安雄(豊後高田市長) 所在地/豊後高田市御玉 114	開幕行事の成功に大きく貢献した。	

第32回大分県芸術祭に参加して



伝統文化の追求に努力

大分能面会主宰 安東 修一（豊修）

芸術祭参加行事として、第5回能面展を好評裡に終え、1ステップを越えることができたことを会員一同喜んでおります。

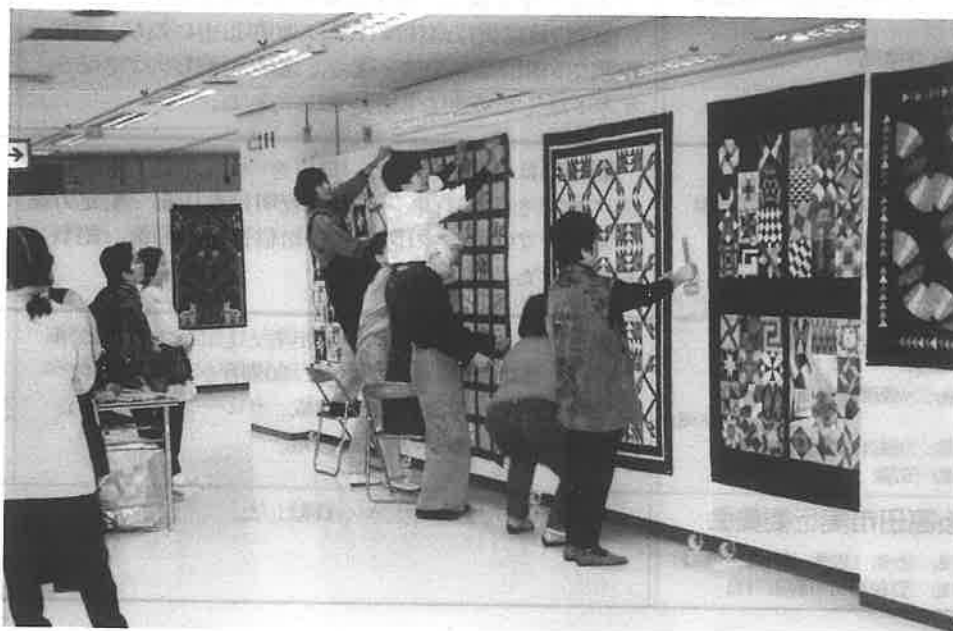
現代の能面は古面の模作が主で、日本文化の伝統である幽玄の美の追求が生命です。情趣に富んだ、わび・枯淡の美だけに奥が深く、感情を内包する仮面だけに尚更です。

大分の生んだ竹の人間国宝、生野祥雲斎は竹作品を芸術に高め、美ひとつにしぼって名作を生みました。私共も先達に学び、伝統文化の伝承、美を探究する徒として、古色づけ、毛書き一本にも心して、今後精進を続けたい。

継続は力

大分パッチワークキルト協会 代表 小野 和子

私達大分パッチワークキルト協会は芸術文化振興会に入会して六年になります。協会の活動の一つとして、毎年作品発表のフェスティバルを行ってまいりましたが今までは会場借用の問題等で大分芸術祭の期間中に行えませんでした。今年は初めて期間中に会場を確保でき参加させていただきました。それで感じたことですが、県として展示会等はみているのでしょうか？今後も県下のキルター達の発表の場としてフェスティバルを続けて行きたいと思っていますので、できるだけの協力をお願い致します。



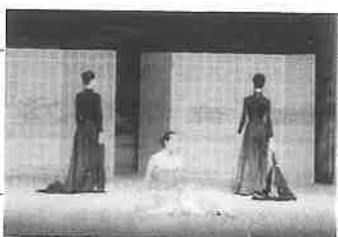


10周年記念を迎え

大分県新舞踊連盟 理事長 松宗寿栄親

大分県新舞踊連盟では、毎年5月に“新舞踊初夏の彩り”と題して発表会を開催して参りましたが、今年で丁度10周年を迎えました。10周年を記念して初めて名流人会を企画致しましたが、是非とも大分県芸術祭に参加したいということで、期間中の11月に日程を合わせました。お陰様で仲町会長から心のこもったご挨拶文も戴きましたし、関係者一同大変喜んでおります。

これを励みに、県民文化の発展に少しでも寄与できるよう努力精進するつもりです。また、平成10年の国民文化祭についても全面的にご協力させて頂く所存ですので、どうぞ宜しくお願い致します。



より質の高いものをめざして

後藤智江モダンダンス 後藤 智江

11月7日、後藤智江舞踊公演「炎」。個人としては今回芸術祭に初参加をした。会場は能楽堂、普段能とは縁遠い観客とダンサーがモダンダンスの舞台を通して、独特の空間を共有し、貴重な体験ができた。チラシやパンフレットに第32回大分県芸術祭参加の文字が入る事により、主催する側としては責任を感じ、より質の高いものを目差し力が入ったが芸術祭とは作品を鑑賞する人達の為のもので当日時間をさいて会場に足を運んで下さった方々に感謝し、芸術祭に次の作品創りの大きなエネルギーをいただいた様な気がする。平成10年の国民文化祭に向け、又踊り続けたい。



「豊の風」を吹かせよう

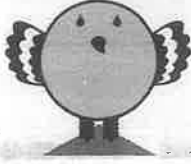
津久見市文化協会 会長 日高 義雄

「ローカル文化の花を、あなたの手で咲かせよう」を、テーマに11月9日と10日の両日に亘り、第32回大分県芸術祭参加・第26回津久見市文化祭として開催した。

例年芸能部門はジャンルに依っては、隔年毎に出演して貰っていたが、今回は9年度のプレ国民文化祭、10年度の国民文化祭を視野に入れ、展示部・芸能部の会員920名全員参加とした。両日とも会場の津久見市民会館（970席）は超満員で立見が出る程の大盛況で、意を強くした次第である。

このパワーを一過性のものとせず、国民文化祭に向けて爆発させ、「21世紀へ文化をおこす豊の風」を吹かせたいものである。

第11回国民文化祭 とやま'96に出演して



第13回 国民文化祭・大分大会の成功にむけて

大分交響楽団 津崎 雅久

今年の「オーケストラフェスティバル」は10月6日富山県魚津市の「富山県新川文化ホール」で開催されました。

今年の大会は、お客様が大変少ないと思いました。

私どもは開催地で、タクシーに乗ることが多いのですが、今年も他の開催地と同じように、「今日は何があるのですか」と言う質問を運転手さんより受けました。

また会場の周りには国民文化祭に関する表示が少なく、初めて参加した方は迷うことが多かったと思います。

会場内では十分な準備を行い、進行や舞台のセットなどはすばらしかったと思います。

大分で開催の時は開催関係者のみの大会に終わらず、大分県民全体に開催を知っていただき、すばらしい大会にしていきたいと思います。



「豊後風流」で出演

大分県日本舞踊連盟 会長 花柳笹之丞

第11回国民文化祭とやま'96日本舞踊の祭典が「越後に映える舞姿と題しまして平成8年10月5日、富山県民会館ホールにて華々しく催されました。地元の富山県日本舞踊協会の皆様が奏風楽「つるの寿」で幕が開き北は北海道より四国、九州と各代表団体が錦を飾る舞姿は国民文化祭ならではの大舞台でございました。取りは創作長唄「越中三趣」これは富山県にちなんだ名物名所が折り込まれ80余名の豪華な演出で最後に「越中おわり踊り」でめでたくどん帳が降ろされました。大分県日本舞踊連盟も「豊後風流」で出演させていただき大変な拍手をいただいて参りました。その御陰をもちまして他県の方々より大分開催の折にも協賛くださるとの事で大変意義深い公演でございました。平成10年に向けてこの体験を生かし素晴らしい大分県にして参りたいと念じております。



一糸乱れぬ豪快な熱吟

光霊流大分詩道会副会長 多田 篤霊

近代建築の翠を集めたここ富山市芸術文化ホールは、9月末完成したばかり、第11回国民文化祭のメイン会場、全国吟詠剣詩舞道祭も10月6日この会場で華やかに開幕した。大分県吟剣詩舞道連盟より選抜された各流各会派の幹部25名も合吟59組中36番目に出吟、一糸乱れぬ豪快な熱吟で盛んな拍手を浴びた。出吟後は席の温まる暇もなく、あらかじめ分担の視察場所へと散った。舞台は予定通り進行、第二部地元企画構成吟「いのちいずるふるさと越中賛歌」は、富山県のシンボル立山と万葉の地をアピール、その内容もさることながら長期に亘る準備と演練に心血を注いだ跡が舞台に漲り感動の連続。最後に本大会のクライマックス第三部企画構成吟剣詩舞「日本の花筐」は全国一流の集いだけあって豪華絢爛、初めて見る地元の観客を歓嘆させた。大分県からは光霊流少壮吟士3名の名吟にのせ、詩舞道光翠扇流家元はじめ幹部6名による詩舞を披露、観客をわかせ、九州唯一の合吟出演者と共にその任を果たした。さて平成10年に催される大分県での祭典が果たしてこの様な盛り上りを見せ成功することができるか危惧しているが、成せば成るの信念を持ち今より積極的に取り組む情熱と姿勢があれば必ずや所期の目的は達成し得ると確信し決意を新たにしているのが企画委員の一人としての現在唯今の心境である。

平成8年度

基金事業アンケート

芸術振興会が実施している、芸術鑑賞事業(ファミリー芸術劇場・学校巡回公演)及び地域文化活動事業(文化キャラバン)を県内14会場で行いました。会場の皆さんに感想(アンケート)を書いていただきましたので、紹介します。



ファミリー芸術劇場

7月12日 14:30～ 千歳村中央公民館

学校巡回公演

6月19日 11:40～ 中津大幡小学校

●●● マンドリン演奏独唱 ●●●

素晴らしい音楽を聞き気持ちがすがすがしくリフレッシュできた。児童生徒との合唱もあり、盛りあがった。



学校巡回公演

7月16日 14:00～

国東町小原小学校

7月17日 14:00～

安岐町南安岐小学校

●●● 大分大混声合唱 ●●●

合唱はとてもきれいなハーモニーでうっとりした。オペレッタは大変面白かった。子供等には夏休み前のよい土産になった。



学校巡回公演

6月20日 10:00～ 三光村株小学校

9月6日 9:30～ 津久見市赤崎小学校

9月6日 13:30～ 津久見市長目小学校

●●● 人形劇 ●●●

地区のPTA・老人会の方々を招待する等、多彩な人形劇に子供等も大変喜び好評であった。



学校巡回公演

8月19日～26日 10:00～15:00

狭間町狭間小学校

●●● 高山辰雄ジュニア秀作絵画展 ●●●

素晴らしい展覧会でした。広くて見やすく、又、説明がありわかりやすかった。



学校巡回公演

6月27日 13:00～ 姫島村離島センター

6月28日 10:30～ 直入町下竹田小学校

6月28日 13:30～ 直入町長湯小学校

●●● ギター演奏 ●●●

生演奏は初めて聞き感動した。学校で教えている歌があり、声を出して歌うなど子供はあきなくてよかった。



学校巡回公演

10月31日 13:30～

中津市今津中学校

●●● 独唱・合唱・器楽演奏 ●●●

プログラムは授業内容からとり入れたもので生徒も大変興味があったようだ3年生全員との合唱もあり大変よかった。



学校巡回公演

11月16日 10:15～ 中津市三保小学校

●●● 大分県庁職員吹奏楽団 ●●●

子供の情感が豊かで、素直に演奏に反応し大変喜んでいた。成功であった。



文化キャラバン

11月22日～24日 宇佐文化会館

●●● 書道展 ●●●

明るく楽しいすばらしい作品であった。先生方の解説もあり、わかりやすく大変素晴らしい書道展であった。

事務局だより

平成8年度 会員(秋)の受章(彰賞)者紹介

☆黄綬褒章

片山 覚 自 (覚友会長)

☆文部大臣表彰 地域文化功労者

大分県地方史研究会
(代表 渡辺 澄夫)

☆文部大臣表彰 地域文化功労者

大崎 聡 明 (大分県美術協会員)

☆大分合同新聞文化賞 (芸術文化功労者)

佐々木均太郎 (別府大学教授)

☆大分合同新聞文化賞 (芸術文化功労者)

梶原 純 淑
(大分県習字名誉会長)

芸振補助事業で開催される行事

平成9年1月～3月

行 事 名	開催月日	会 場	主催団体名
第14回定期演奏会	1月12日	県芸術会館	大分市少年少女合唱団
大分県合唱講習会	2月22日～23日	県芸術会館	大分県合唱連盟
第11回二科会大分県公募展	3月11日～16日	県芸術会館	二科会大分県支部
大分ジュニアコーラス定期演奏会	3月30日	コンパルホール	大分ジュニアコーラス

基金へ寄付

「国際ソロプチミスト大分一みどり」の会(会長 松橋味良)より、さる11月29日大分県芸術文化基金の一助にと金10万円が寄付されましたので、ご報告します。

96年版「大分県文化年鑑」の編集開始

編集委員・執筆委員の先生方には、大変なご尽力を頂いているところですが、本年度第1回の編集委員会で、編集方針・編集スケジュール等が決定しました。編集委員の先生方は、各ジャンル(執筆委員)の執筆をとりまとめ、事務局

に提出することになっています。また会員の方で資料提出等の依頼があった場合は、よろしくご協力くださるようお願いします。

なお編集委員・執筆委員の先生方は下記名簿のとおりですので、よろしくお願いします。

★「文化年鑑」編集委員及び執筆委員名簿

ジャンル	氏名	ジャンル	氏名	ジャンル	氏名	ジャンル	氏名	
文芸	編集委員・小説	佐々木均太郎	美術	日本画	鈴木 忠実	音楽	オーケストラ	松尾 英一
	現代詩	首藤 三郎		彫刻	合田 習一		作曲	野崎 哲
	短歌	日野 正美		工芸	佐藤 武郎		合唱	河野 昭二
	俳句	香下 寿外		書道	樋口 柴水		オペラ	小長 久子
	現代俳句	足立 雅泉		写真	河野 公記		軽音楽	中野 幸和
	川柳	佐藤 真砂延		デザイン	波多野 義孝		邦楽	後藤 碩山
	連句	佐々木均太郎		編集委員	辛島 光義		民謡	松井 猛
美術	編集委員	十時 良	声楽	土谷 正公	吟界	深田 光彦		
	洋画	脇坂 秀樹	室内楽	辛島 光義	舞踊	編集委員・洋舞	佐藤 朱音	
			吹奏楽	斎藤 哲哉	日舞	花柳 笹之丞		
				舞踊	伊坂 香里			
				舞踊	中沢とおる			
				舞踊	清末 典子			
				舞踊	飯田 昭一			
				舞踊	首藤 悦爾			
				舞踊	緒方 基秀			
				舞踊	藤原 嘉久			
				舞踊	吉永 浩二			
				舞踊	山崎 哲一郎			
				舞踊	鈴木 忠実			